

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-135261

(43)Date of publication of application : 01.06.1993

(51)Int.Cl.

G07F 9/02

G07F 5/22

(21)Application number : 03-295495

(71)Applicant : MATSUSHITA REFRIG CO LTD

(22)Date of filing : 12.11.1991

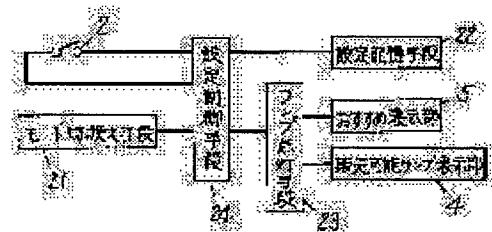
(72)Inventor : TAKANO SHIGEKI

(54) AUTOMATIC VENDING MACHINE

(57)Abstract:

PURPOSE: To freely set the number of recommended merchandise by providing a flickering means for flickering the lamp of a recommended merchandise display part and a sales enable lamp, when the sales enable lamp is turned on.

CONSTITUTION: When a customer deposits a coin from a coin input port and a sales enable lamp 4 is turned on, the lamp incorporated in a recommended merchandise display part 5 is flickered, the character of the recommended merchandise is displayed, and simultaneously the sales enable lamp 4 of the recommended merchandise is flickered, so that the customer can know the recommended merchandise. At that time, a changeover to a recommended merchandise set mode is operated by a mode switching means 21. When the merchandise set mode is set, the recommended merchandise display part 5 is flickered by a lamp turning-on means 23. When a merchandise selecting switch 2 to set the recommended merchandise is pressed, the selected merchandise is stored in a setting storage means 22, and simultaneously the sales enable lamp display part 4 is turned on by the lamp turning-on means 23.



(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-135261

(43)公開日 平成5年(1993)6月1日

5/10

(51)Int.Cl.⁵

G 0 7 F 9/02
5/22

識別記号

庁内整理番号
C 7130-3E
A 7130-3E

F I

技術表示箇所

(21)出願番号

特願平3-295495

(22)出願日

平成3年(1991)11月12日

(71)出願人 000004488

松下冷機株式会社

大阪府東大阪市高井田本通3丁目22番地

(72)発明者 高野 繁樹

大阪府東大阪市高井田本通3丁目22番地

松下冷機株式会社内

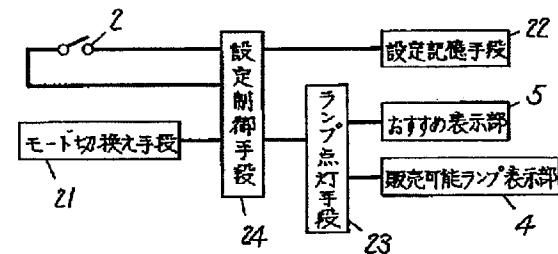
(74)代理人 弁理士 小銀治 明 (外2名)

(54)【発明の名称】 自動販売機

(57)【要約】

【目的】 本発明はコインまたは紙幣を自動的に認識し、商品を販売する自動販売機に関するもので、おすすめ商品を配置させるコーナーと、専用のサンプル缶を必要とせず、おすすめ商品のかずを自由に設定することができる自動販売機を提供することを目的としたものである。

【構成】 商品選択スイッチ2とおすすめ表示部5と設定記憶手段22とモード切換手段21とを有し、おすすめ商品に対応して販売可能ランプ表示部4を任意に設定することができる設定制御手段24とから構成する。



FP04-0165
JP
'09.9.08
Ω A

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ランプの点灯、消灯にて、購入者におすすめ商品を知らせるおすすめ表示部と、コイン投入後、商品選択スイッチに対応し、ランプ点灯にて販売可能表示を行う販売可能ランプ表示部とを有し、コイン投入後、前記販売可能ランプが点灯した時に、前記おすすめ表示部のランプと、おすすめ商品の前記販売可能ランプを点滅させる点滅手段を有することを特徴とする自動販売機。

【請求項2】 おすすめ商品に対応して点滅する販売可能表示を行う販売可能ランプ表示部を任意に設定することができる設定手段を有することを特徴とする請求項1記載の自動販売機。

【請求項3】 設定手段が商品選択スイッチと設定記憶手段と設定動作時に商品選択スイッチに対応した設定制御手段とモード切換手段を有し、おすすめ商品に対応して点滅する販売可能表示を行う販売可能ランプ表示部を任意に設定することができる前記設定制御手段を有することを特徴とする請求項2記載の自動販売機。

【請求項4】 モード切換手段により、おすすめ商品設定確認モード切換え、前記販売可能ランプ表示を点滅させることにより、おすすめ商品の設定を確認する確認制御手段を有することを特徴とする請求項1記載の自動販売機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明はコインまたは紙幣を自動的に認識し、商品を販売する自動販売機に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 図6により従来例の自動販売機を説明する。1はコイン投入口、2は商品選択スイッチ、3は商品サンプル缶で購入者が商品選択をするための見本である。60はおすすめ商品コーナーで、目立つ場所に通常のサンプル缶とは別に、おすすめ商品用のサンプル缶をもうひとつ配置されている。61はおすすめ用サンプル缶、62はおすすめ商品選択スイッチ、63はおすすめ商品表示板、4は販売可能ランプ表示部で販売可能時に点灯する。

【0003】 以上の構成からなる自動販売機について以下図面を参考にして、その動作について説明する。

【0004】 購入者がコインをコイン投入口1より投入すると、投入金額に応じた販売可能ランプ表示部4が点灯する。商品サンプル缶3の販売可能ランプ表示部4が点灯すると同時に、おすすめ商品コーナー60に配置されたおすすめ商品サンプル缶3に対応した販売可能ランプ表示部4も点灯する。おすすめ商品を選択しやすい構成とし、特定の商品を有效地に販売促進できるような構造となっている。購入者は希望の商品に対応した商品選択スイッチ2を押すことにより商品を購入することができ

る。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 しかし、この構造ではおすすめ商品を配置させるコーナーと、専用のサンプル缶が必要になり、おすすめ商品を変更したい場合、新たに専用のサンプル缶が必要であり、容易におすすめ商品の変更ができない。またおすすめコーナーに配置できるサンプル缶の数は限られており、おすすめ商品の本数を変更することはできない。

【0006】 本発明は上記課題に鑑み、おすすめ商品を配置させるコーナーと、専用のサンプル缶を必要とせず、おすすめ商品のかずを自由に設定することができる自動販売機を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するため本発明の自動販売機は、商品のおすすめ表示をランプの点灯、消灯にて、購入者に知らせるおすすめ表示部とコイン投入後、商品選択ボタンに対応し、ランプ点灯にて販売可能表示を行うランプ表示部とを有し、コイン投入後、前記販売可能ランプが点灯した時に、前記おすすめ表示部のランプと、おすすめ商品の前記販売可能ランプを点滅させる機能と、特定商品の販売可能ランプ表示部の数を任意に設定することができる点滅手段とから構成されている。

【0008】 また、おすすめ商品に対応して点滅する販売可能表示を行うランプ表示部を任意に設定することができる設定手段とから構成されている。

【0009】 さらに、設定手段が商品選択ボタンと設定記憶手段と設定モード切換手段と設定動作時に商品選択ボタンに対応した設定制御手段とを有し、おすすめ商品に対応して点滅する販売可能表示を行うランプ表示部を任意に設定することができる前記設定制御手段とから構成されている。

【0010】 そしてさらに、商品選択ボタンに対応し、ランプ点灯にて販売可能表示を行うランプ表示部と設定記憶手段と設定モード切換手段とを有し、前記ランプ表示部を点滅させることにより、おすすめ商品の設定を確認する設定確認手段とから構成されている。

【0011】

【作用】 おすすめ商品設定時の点滅ランプ付きおすすめ表示板と販売可能ランプは商品販売時にランプを点滅させることで購入者におすすめ商品を強く提示することができる。おすすめ商品の設定数を自由にすることで、おすすめ商品変更時は設定を変更するだけで、おすすめ商品の設定を完了することができる。

【0012】 また設定手段を設けることにより、おすすめ商品を任意に設定することができる。

【0013】 さらに、設定制御手段は、商品選択ボタンを押すことにより、設定記憶手段にどれがおすすめ商品かを記憶し、おすすめ商品設定が誤りなく行うことができる。

きる。

【0014】そしてさらに、設定確認手段を設けることにより、販売可能表示を行うランプ表示部を点滅し、設定されたおすすめ商品がどれであるかを確認することができる。

【0015】

【実施例】以下本発明の第1の実施例の自動販売機について図面を参照しながら説明する。図1は本発明の第1の実施例における自動販売機を示すもので、図1において1はコイン投入口、2は商品選択スイッチ、3は商品サンプル缶、4は販売可能ランプ表示部、5はおすすめ表示板で設定によりランプ点灯を行いおすすめ商品の文字が読み取れるようになっている。

【0016】以上から構成される実施例について以下の動作について説明する。おすすめ設定を行わない時は、購入者がコイン投入口1からコインを投入すると、投入金額に応じた販売可能ランプ4が点灯する。この時、おすすめ表示板5のランプは消灯しており、おすすめ商品の文字は読み取れない。この場合購入者に対して、おすすめ商品の提示は行われないことになる。

【0017】特定商品の販売を促進したい場合は、おすすめ商品を限定し、設定することができる。

【0018】おすすめ商品を設定した場合、購入者がコイン投入口1からコインを投入し、販売可能ランプ4が点灯した時、おすすめ表示板5に内蔵されたランプが点滅し、おすすめ商品の文字が表示され、同時におすすめ商品の販売可能ランプ4が点滅し、おすすめ商品を購入者に知らせることができる。おすすめ商品以外の販売可能ランプ4は、おすすめ設定をしない時と同じく点灯し、点滅はしない。また、おすすめ商品の設定は、販売商品の中から自由に設定することができる。

【0019】本実施例によれば、おすすめ商品コーナーおよびおすすめ商品のサンプル缶を設けることなく自由に設定することができ、特定商品の販売を促進することができる。

【0020】さらに本発明の第2実施例の自動販売機について図面を参照しながら説明する。図2、図3および図4は本発明の第2の実施例を示すもので、図2において、2は商品選択スイッチ、5はおすすめ表示部、4は販売可能ランプ表示部で、以上は第1の実施例と同じ構成である。21はモード切換手段で各種設定モードの切換えを行う。22は設定記憶手段でおすすめ設定された商品を記憶する。23はランプ点灯手段で、販売可能ランプ表示部4と、おすすめ表示部5のランプの点灯あるいは点滅を行う。24は設定制御手段で設定記憶手段22、ランプ点灯手段23、商品選択スイッチ2の入力等の制御を行う。

【0021】以上から構成される実施例について以下の動作について説明する。まず図4のフローチャートに示すように、モード切換手段21によりおすすめ商品

設定モードに切換えを行う。

【0022】図3はおすすめ商品設定の動作を示したフローチャートである。このフローチャートのSTEP1～STEP5では商品選択スイッチ2によるおすすめ商品の設定による複数の設定が可能である。

【0023】商品設定モードに切換わるとランプ点灯手段23により、STEP2でおすすめ表示部5を点滅させる。STEP3でおすすめ商品に設定したい商品選択スイッチ2を押すと、STEP4で選択された商品を設定記憶手段22に記憶すると同時に、ランプ点灯手段23により、STEP5で販売可能ランプ表示部4を点灯する。

【0024】本実施例によれば、新たにおすすめ用サンプル缶やおすすめコーナーを必要とせず、おすすめ商品を自由に設定することができる。

【0025】そしてさらに本発明の第3の実施例の自動販売機について図面を参照しながら説明する。図4、図5および図6は本発明の第3の実施例を示すもので、図5において、2は商品選択スイッチ、4は販売可能ランプ表示部、5はおすすめ表示部、21はモード切換手段、22は設定記憶手段、23はランプ点灯手段、以上は第2の実施例と同じ構成である。25は確認制御手段で設定された商品がどれであるかを確認するための手段である。

【0026】以上から構成される実施例について以下の動作について説明する。まず図4のフローチャートに示すように、モード切換手段21によりおすすめ商品確認モードに切換えを行う。

【0027】図6はおすすめ商品確認の動作を示したフローチャートである。確認モードに切換わると、STEP2、3では、確認制御手段25はランプ点灯手段23により、おすすめ商品に設定された販売可能ランプ表示部4とおすすめ表示部5を点滅あるいは点灯させる。

【0028】本実施例によれば、設定されたおすすめ商品がどれであるかを簡単に確認することができる。

【0029】

【発明の効果】商品のおすすめ表示をランプの点灯、消灯にて、購入者に知らせるおすすめ表示部とコイン投入後、商品選択ボタンに対応し、ランプ点灯にて販売可能表示を行うランプ表示部とを有し、コイン投入後、前記販売可能ランプが点灯した時に、前記おすすめ表示部のランプと、おすすめ商品の前記販売可能ランプを点滅させる機能と、特定商品の販売可能ランプ表示部の数を自由に設定することができる機能により、おすすめ商品を配置させるコーナーと、専用のサンプル缶を必要とせず、おすすめ商品の数を自由に設定することができ、特定商品の販売を促進することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施例における自動販売機の構成図

【図2】本発明の第2の実施例における設定制御の構成
図

【図3】図2における設定制御のフローチャート図

【図4】図2および図5におけるモード切換えのフローチャート図

【図5】本発明の第3の実施例における確認制御の構成
図

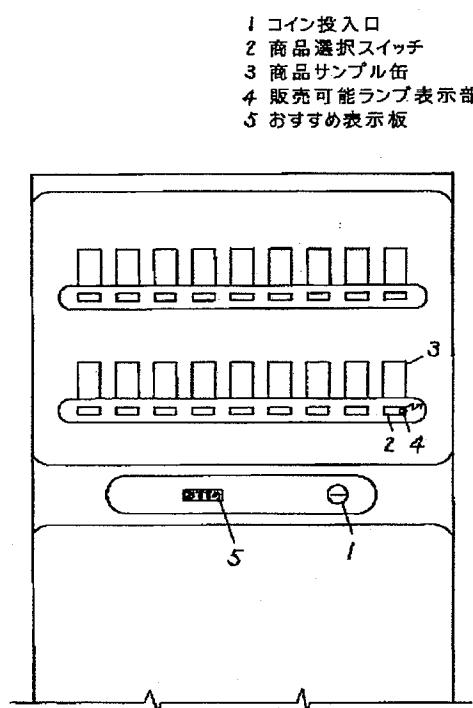
【図6】図5における確認制御のフローチャート図

【図7】従来の自動販売機の構成図

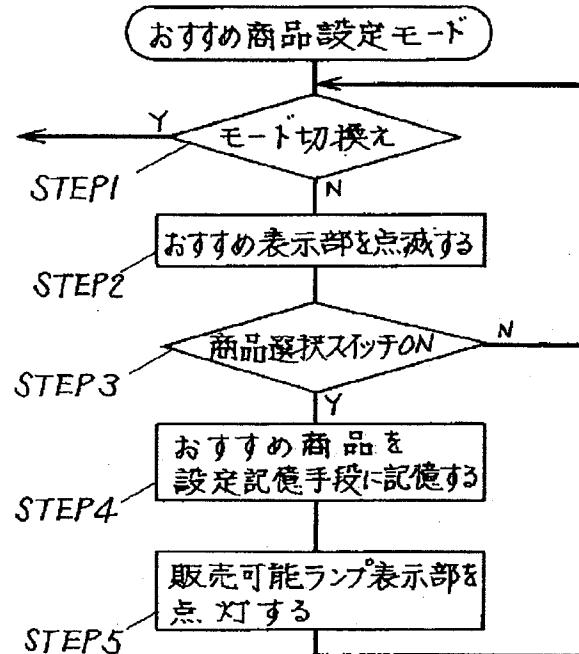
【符号の説明】

- 2 商品選択スイッチ
- 4 販売可能ランプ表示部
- 5 おすすめ表示部
- 21 モード切換え手段
- 22 設定記憶手段
- 23 設定制御手段
- 24 確認制御手段

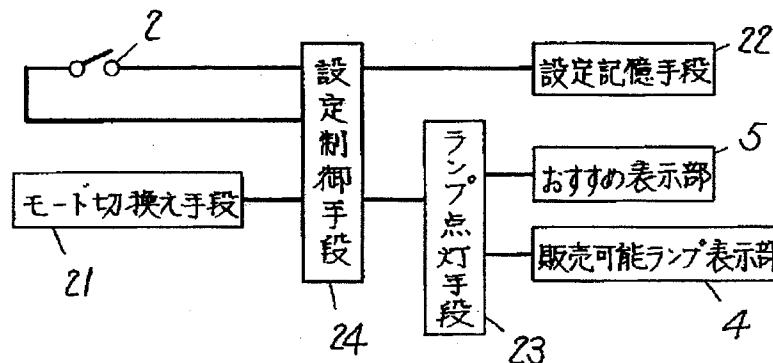
【図1】



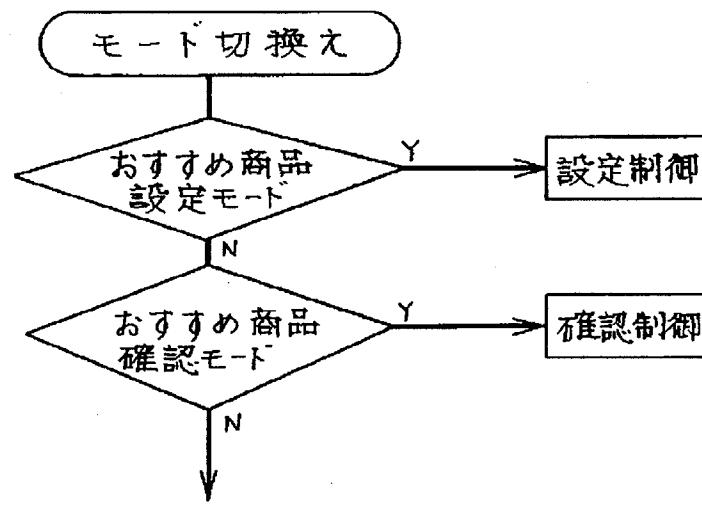
【図3】



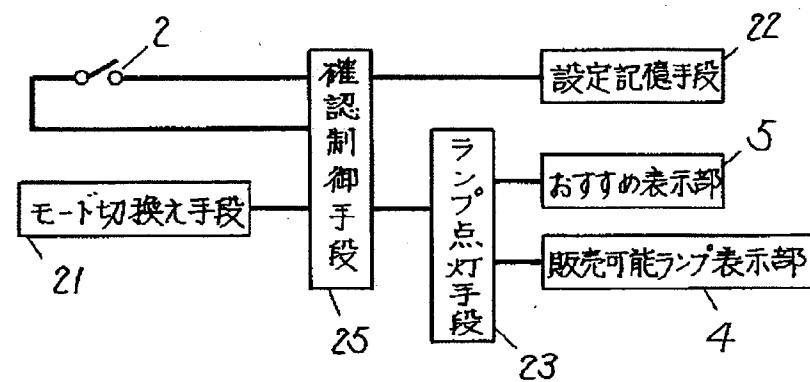
【図2】



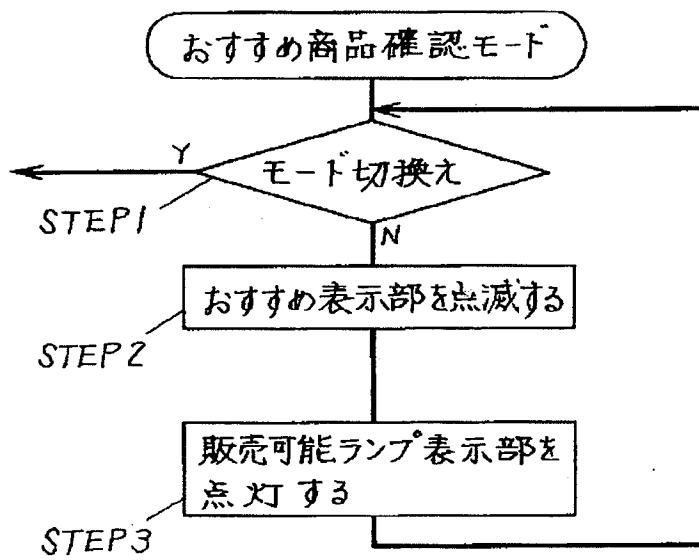
【図4】



【図5】



【図6】



【図7】

